

# 公明党 研修報告書

令和元年 8 月 2 0 日

ふじみ野市議会  
議長 小林 憲 人 様

ふじみ野市議会 公明党  
代表 伊藤 美枝子

ふじみ野市議会公明党所属議員 4 名は、令和元年 7 月 2 9 日（月）及び 7 月 3 0 日（火）全国市町村国際文化研修所（J I A M）において J I A M 市町村議会議員研修「自治体の予算を考える」について、研修を実施したので報告する。

## 1 出席議員

伊 藤 美枝子  
島 田 和 泉  
川 畑 京 子  
鈴 木 美 恵

## 2 研修先及び研修項目

全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目 1 3 - 1）

令和元年 7 月 2 9 日（月）午後 1 時～午後 5 時 3 0 分

- （1）「自治体予算の原則」
- （2）「歳入予算の基礎とチェックポイント」
- （3）「歳出予算の基礎とチェックポイント」
- （4）「意見交換会①」

令和元年 7 月 3 0 日（火）午前 9 時 2 5 分～午後 2 時 1 0 分

- （1）「財政の現状把握①財政診断」
- （2）「財政の現状把握②地方公会計の活用」
- （3）「意見交換会②まとめ」

## 3 研修内容について

### ① 7 月 2 9 日の研修内容

「自治体予算の原則」では予算の意義など、基礎から説明を受けた。予算の種類やルールについて説明を受け、会計年度独立・総計予算主義・予算事前決議・予算公開など項目ごとに例題を通した説明に併せて、実施する行為の裏付けとなる関連法なども学んだ。

「予算の編成から成立・執行まで」では、予算調整→予算審議(首長から議会へ)→予算執行(議決後事業実施)の流れに従い、提案と議決や執行部内の予算編成の流れなどをフロー図や遷移図、関連法などと合せて学んだ。

「議会における予算審議」では、予算審議の流れ、予算の修正、予算の再議、専決処分など想定される行為と関連用語などを学んだ。また、通年の予算編成から決算までの流れについて事例をもとに学んだ。

## ② 7月30日の研修内容

「財政の現状把握」では、地方公会計の活用は予算・決算の審議において重要な知識であることが再認識できた。

また、自治体の財務状況を、県平均や類似同規模の団体との比較検討することで現状を客観的に捉えることが可能となった。

財政診断や評価については議員として重要なポイントと認識しているが、実際の行政運営状況と診断結果がどのように関係性があり、改善予測に対して実施効果が望めるのかなど学びたい点が多く残り新たな課題となった。

## ③ 意見交換会について

- ・グループ分けされた組合せで同規模の自治体が少なかった。
- ・統一地方選挙後の研修会であったこともあり初当選後の新人の方が多かった。
- ・29日は挨拶程度とのことだったが、2日目に余裕がなくなると考え意見交換を先行。念のため各自の発言記録は自分で残し、夜の空き時間を活用して内容整理を行い、発言原稿を作成しておいた。
- ・他市町の情報を聞き出したかったが、進行を行いながら記録するのが難しく消化不良となった。
- ・意見交換会の取り組み方にも問題はあると思われるが、適当な改善策は思い浮かばない。

## 4 研修の感想について

### 伊藤美枝子議員所感

新人議員もいることから、予算の基礎から学べる本講義を選択した。予算の基本から歳入・歳出予算のチェックポイントなど、わかり易い説明であった。

総務省資料の全国市町村の歳入決算額内訳や市町村税の過去5年間の推移を当市との比較に活用してみることや、歳入の不足分を補う地方交付税も国税5税の一定割合(法定率分)では、実際の必要額が不足しており、臨時財政対策債の発行が必要となるが、臨時財政対策債の問題点についても学んだ。

歳出についても、性質別と目的別の過去5年間の推移を基にチェック項目を学んだ。また、財政診断に活用できる資料や地方公会計の財務書類4表などについても学んだ。地方公会計と公共施設の適正管理の連携で、固定資産台帳

の整備が行なわれ、今後さらに公共施設の適正な管理計画が実施できるものと期待している。今回学んだデータ等を基に、本市の状況を把握していきたい。講義終了後の分科会では、6つのテーマごとに分かれて議論した。他自治体の抱えている問題や先進的な取組、考え方など参考になった。

#### 島田和泉議員所感

本市議会には、特に研修制度も無く、当選後は自助努力のみで議員活動を行わなければならない、予算・決算審議などにおいては独学で臨むこととなるので、有益な講義を受けることができた。

しかしながら内容として「満足できたか」と問われた場合には、難しい点が残ってしまうと考えている。2日間の日程では十分に理解するための時間としては足りておらず、講師の方も決められた内容を達成するためにと駆け足にならざるを得ない。そのため詳細の事例などを活用した反復学習や深堀など余裕が無く、その内容を聞いた程度にとどまってしまうため独学による補足していく必要性を強く感じた。学びのきっかけや理解できていないポイントの洗い出しとしては充分効果的であったと感じている。

#### 川畑京子議員所感

意見交換会3-Bグループに参加、テーマは財源確保について。

ふるさと納税など、人口減少を見据えたこれからの取組などについて、滋賀県甲賀市、滋賀県日野町、大阪府富田林市、兵庫県養父市、宮崎県三股町の議員と、それぞれのまちの状況や課題などについて意見交換を行った。

特に、ふるさと納税とクラウドファンディングを活用した取組が興味深かった甲賀市では、近江鉄道線がかつて活躍していた国産最古級の電気機関車、ED314の東近江市内での保存展示活用をめざし、輸送・設置費500万円を目標に、インターネット上で寄附を募るクラウドファンディング(CF)を「レディーフォー」社のサイトで実施。

また、さとふるのクラウドファンディングは、ふるさと納税の仕組みを活用して、寄附金の使途に応じた事業を立ち上げ募る、クラウドファンディング型ふるさと納税サイトであり、さとふるのクラウドファンディング上で具体的な寄附金の使途から寄附先を選択することができるほか、自治体への応援メッセージの投稿や集まった寄附金額を確認することもできることから、今後ふじみ野市でも参考事例として研究してまいりたい。

また、富士市でのトイレトレーラーについても議論がされた。これからの時代にあった寄附金のあり方について有意義な意見交換となった。

#### 鈴木美恵議員所感

自治体予算の原則として民間企業の予算とは意味合いが全く違うというところから丁寧に教えていただいた。

そして予算の公開意義として自治体の行政がどのように行われるのかを表し、市民との約束になるということも学んだ。

また、予算・決算のチェックポイント、地方交付税の仕組み、財政力指数（自前で稼ぐ力）についての内容も初めて学び、様々な比率を算出し、現在の本市の財政状況を把握したり、他の市町村と比べることも経験できた。

今回学んだことを軸に自治体の予算についてしっかり勉強するきっかけとしたい。

分科会では、財政状況が深刻な自治体の中、真剣に向き合い悩み、新しい提案をしながら頑張っている先輩方に感激した。